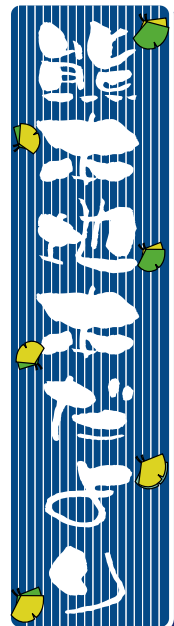


「令和」最初の熊本地本だより

がまだせ肥後っ子

～入隊激励会～



発行所

自衛隊熊本地方協力本部

〒860-0047

熊本市西区春日2丁目10番1号

熊本地方合同庁舎B棟3階

TEL 096-297-2053

熊本地本

検索

<http://www.mod.go.jp/pco/kumamoto/>

詳細はこちら！



宇城・上益城地区
入隊・入校予定者激励会



菊池地区自衛隊入隊・入校者激励会

三月二日（土）～三月十九日（火）の間、自衛隊熊本地方協力本部は、県内各会場において行われた自衛隊家族会主催による入隊激励会に参加し、入隊・入校者にエールを送りました。

本激励会は、入隊・入校予定者とその家族を対象に入隊・入校意欲の向上を目的として自衛隊家族会などが主催し、県内各地区で毎年実施されています。本年も、熊本市や宇城市、菊池市など十三箇所において実施されました。各会場では各種試験の難関を突破した入隊・入校予定者の他、各首長やご家族の方をはじめ、学校・自治体関係者、家族会会員、募集相談員など多数の方が参加され、激励会は盛大に行われました。

会場の雰囲気や緊張の面持ちの入隊・入校予定者でしたが、これから自衛官としての一歩を踏み出そうとする決意と力強さを感じました。特に、各地区出身者の先輩隊員からの激励の言葉を真剣な

各地で入隊・入校予定者
激励会を開催

各部隊への 着隊業務を支援

眼差しで聞き入る姿や、入隊・入校に当たった決意を表明する姿に涙ぐむご家族の姿がとて印象的でした。

また、三月二十五日（月）から四月一日（月）までの間、教育隊への着隊支援を実施しました。その中で特に入隊予定者の着隊が集中した三月二十七日（水）及び二十八日（木）は、荷物を抱えた入隊予定者約二百三十名が、見送りの家族や友人たちを伴い、澁刺とした表情で会場となった大ホールに集合しました。会場において、この日着隊先となる久留米、えびの、国分及び崎辺の目的地毎に席を準備し、最終的な人員の確認と同行する担当所長等の紹介や移動間の注意事項等を示しました。



その後入隊予定者たちは、出発までのわずかな時間でしたが、家族や友人たちと話をしたり、写真を撮り合ったりして、しばしの別れを惜しんでいました。

バスに乗り込む際に握手をして激励の言葉をかける父親や、手にハンカチを握りしめ涙を拭う母親の姿に、我が子に対するご家族の強い想いを感じました。

満開となった桜と前途を祝福するかのような雲一つない快晴の天候に恵まれ、バスに乗車した入隊予定者たちは、晴れ晴れとした表情で元気に手を振り、家族や友人たちの声援に応えつつ、それぞれの目的地に向け出発しました。

後日、各駐屯地（基地）では入隊式が執り行われ、新し



い制服を身にまとい、服務の宣誓をする姿をみて、自衛官に向けて第一歩を踏み出した彼ら彼女らのこれからの活躍を祈念し、先輩として、志を一つにする仲間として心から応援しています。

熊本地本は、自衛隊に対する国民の期待が益々高まっている中、これからの自衛隊を担っていく若者を一人でも多く、この熊本の地から送り出したいと考えています。

今年度も引き続き、優秀な隊員を獲得すべく地本一丸となつて取り組んでまいります。



自衛官募集中！

採用年齢が32歳まで引上がりしました。

自衛隊入隊適齢者情報の提供を
宜しくお願い致します。

詳しくは
自衛隊熊本地方協力本部募集課まで
TEL(096)297-2051

平成30年度 募集成果

自衛官等募集におきましては学校、自治体、関係機関、各種協力団体等の皆様から多大なご協力・ご支援を賜りましたことをまずは紙面をお借りして深く御礼申し上げます。

平成30年度の募集業務は、前年度に引き続き少子化、高学歴化、好景気による企業の採用意欲の高まりが一層鮮明になる等募集環境が厳しさを増す中、成果の分析を踏まえた目標管理の促進、組織的募集基盤の拡充とともに募集業務の改善・充実を図り、地本隊員全員が一致団結し、募集業務を実施しました。

その結果、平成30年度の募集実績は、1,726名の志願者を獲得し、陸海空自衛官等を415名入隊させることが出来ました。特に、「防衛医科大学校（医学科・看護学科）」、「航空学生」、「一般曹候補生」及び「予備自衛官補」においては厳しい募集環境の中、前年度以上（同数含む。）の入隊者を確保しました。

本部長を初め、本部各課隊員、各地域事務所長及び広報官の広範かつ地道な努力による結果であると考えます。

しかしながら、一部の種目においては募集目標を達成できず、平成30年度の募集方針である「方面から示された募集目標を完全に達成する。」ことは成りませんでした。この結果を真摯に受け止め、詳細に分析するとともに問題点に対する処置・対策を講じ、この悔しさをバネに令和元年度こそは目標を必ず達成できるよう、更に人的基盤の確立に向けて精進してまいります。

令和元年度の自衛官募集業務におきましては、ここ「尚武の地」熊本 の気風と伝統を受け継ぎ、一層の業務の総合一体化及び隊務全般にわたる効率化、合理化を図り、新たな施策を積極的に実施し、全ての募集種目において相応しい成果が得られるよう、全身全霊で取り組んでまいります。引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年度自衛官等募集実績

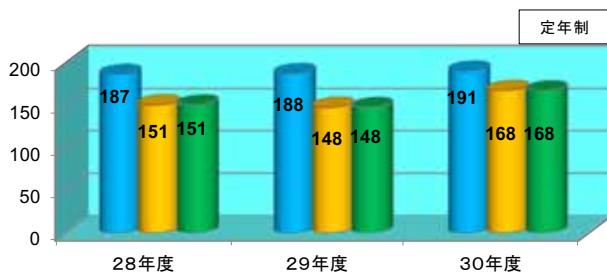
		志願者数（人）			入隊者数（人）		
		29年度	30年度	昨年度比	29年度	30年度	昨年度比
一般幹部候補生		46	34	74%	7	2	29%
技術海・空曹		5	1	20%	1	0	0%
防衛大学校		355	228	64%	10	9	90%
防衛	医学	104	79	76%	0	1	100%
医大	看護	57	42	74%	3	6	200%
航空学生		40	56	140%	4	5	125%
一般曹候補生	陸	396	477	110%	89	117	131%
	海	43	45		19	25	
	空	43	65		14	18	
自衛官候補生	陸	455	464	103%	187	164	92%
	海	52	52		7	11	
	空	68	76		20	22	
高等工科学校		67	63	94%	19	9	47%
予備自衛官補		33	44	133%	19	26	137%
合 計		1764	1726	98%	399	415	104%

平成30年度就職援護及び予備自衛官業務成果

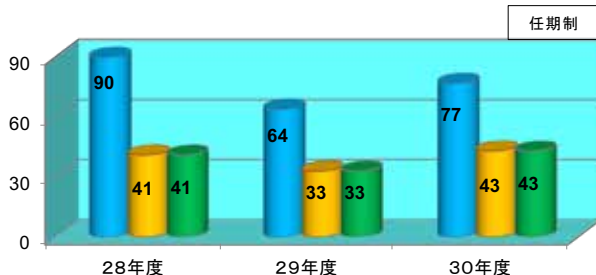
平成30年度の熊本の経済は、個人消費においては、天候要因等の影響で百貨店・スーパー販売が伸び悩んでいるものの、乗用車の新型販売が好調なほか、コンビニエンスストア販売も堅調なことから、緩やかに回復しております。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど改善しているなかで、人手不足感が高まっているようです。このような雇用情勢の中、就職援護業務におきましては、熊本県自衛隊雇用協議会、雇用協力企業の皆様のご協力により、定年・任期制退職隊員211名の就職援助希望隊員全ての援助を完遂いたしました。更に予備自衛官業務におきましても、即応予備自衛官159名、予備自衛官1,087名を確保し、西部方面隊が必要とする一定の勢力を確保することが出来ました。これも日頃からの皆様方のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

また、令和元年度は4四半期より、1尉から1曹の階級の自衛官は、1年間定年が延長されます。今後も就職援護・予備自衛官業務の目標達成のため、精一杯努力する所存でございます。本年度も引き続き皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

退職自衛官の就職援助状況



■退職者数 ■援護依頼者数 ■援護実施者数



■退職者数 ■援護依頼者数 ■援護実施者数

平成30年度1月～3月イベント

熊本県内各地で、以下のイベントで広報活動を行いました。



水俣、芦北仕事発見塾

2月22日（金）熊本県葦北郡、芦北高校で実施された「水俣・芦北仕事発見塾」に参加しました。当日は、約60名の高校生及びその保護者に対して、自衛隊の任務や、やりがい・魅力、これからの公務員の使命など、職業観について説明を行いました。

体験搭乗

2月23日（土）陸上自衛隊高遊原分屯地において「体験搭乗」を実施しました。熊本県内各地より募集対象者、募集協力者及び就職援護協力企業等50名の方々が参加されました。



くまモンと記念撮影

四月二十日（土）陸上自衛隊北熊本駐屯地で開催された第八師団創立記念行事に参加しました。青空の下、観閲式典、観閲行進、模擬戦闘訓練、戦闘装備品試乗及び装備品展示等、陸上自衛隊の魅力 を最大限にPRし、駐屯地は大勢の来場者で終日賑わいをみせました。熊本地方協力本部は、広報ブースを開設し、自衛隊の活動への理解促進を図るとともに、募集課に

大好評でした。熊本地方協力本部は、今後も様々な機会を積極的に利用して、地域の皆様に自衛隊の活動や自衛官募集への理解を深めていただくよう広報活動を推進していきます。



缶バッジ作成

師団長感謝状受賞者

- 一般功労
熊本県自衛隊家族会荒尾・玉名地区協議会会長
平野光雄 様
- 就職援護功労
木村電気株式会社 様
菊池地域農業協同組合 様

防衛モニター 終了及び委嘱伝達式

四月十日(水)に熊本地方合同庁舎B棟において平成三十一年度防衛モニター終了及び委嘱伝達式を行いました。防衛モニター制度の目的は、国民一般の方の意見または、要望等を主としてアンケート方式によりお聴きし、以後の諸政策に反映させ国民の自衛隊としてよりよい向上を図ることを目的としております。防衛モニターは二年となり、終了委嘱式では本部長から二十九年度防衛モニターの木山圭一郎様への委嘱終了証の贈呈に続き、三十一年度新規委嘱モニター大山みどり様への委嘱伝達式が行われました。

伝達式終了後は、記念撮影、会食が行われ、和やかな雰囲気の中、本部長より終了者の木山様に対してのお礼の言葉が述べられ、木山様からは「任期中に様々な自衛隊の行事参加し、良い経験ができた。等」の意見も深まりました。等。の意見を聞くことができました。新規委嘱者の大山様へは、本部長より委嘱間、自衛隊に対する積極的なご意見をお願いされ大山様からは「自衛隊のイベント、行事等へ積極的に参加して知識を深め、意見を述べていきたい」との意見を頂きました。今後引き続き熊本地本は、防衛モニターに対し各種行事



やイベント等へご案内して自衛隊へのご理解を促進するとともに、建設的なご意見及び要望を頂き、自衛隊熊本地方協力本部の向上に邁進してまいります。

退職自衛官を採用して

雇用企業様の声

医療法人愛生会理事長
くまもと温石病院院長
村井 映 様



1. 企業の概要

わたしたち愛生会は「くまもと温石病院」、「サービス付高齢者向け住宅木香館」などを有する医療法人です。わたしたちの位置する下益城郡美里町は見事な棚田や石橋が点在する風光明媚な土地であり、日本の原風景を今に残しています。3333 段の石段を使ったレースなども開催されていますので、ぜひ遊びに来て下さい。

わたしたちの使命は、日本の最も厳しい時代とも言える大正から昭和の前半にかけて国を支え、戦後の復興を担い、現在は高齢者となられた方々を支えていくことです。

2. 退職自衛官の採用理由

わたし自身、平成 18 年に任用された予備自衛官でもありますので、自衛官の方々とは多く接してきました。訓練を通して培われたみなさんの規律や自制心、仲間を思いやる心などは民間の職場に移られてからも、必ず役に立つと思っています。また、わたしたち一人ひとりの国防意識を高めるためにも、退職自衛官の方に入職して頂く意義があると思います。

3. 退職自衛官の職務内容および勤務の様子

今回入職頂いた宮崎耕二さんは現在くまもと温石病院総務課に所属し、患者さんの送迎や機器の管理などに従事してもらっています。庭師の資格もお持ちなので、病院周囲の外観整備もお手の物です。信頼できるお人柄と仕事ぶりを見て、本当にありがたく思っています。忘年会で宮崎さんの「国を愛し国を守る仕事から、愛生会を愛し、愛生会を守る仕事へ」という挨拶の言葉を聞いて、胸が熱くなりました。今後もぜひ継続して退職自衛官の方に入職頂き、当法人内で小隊は無理でも班が編成できるようになれば良いな、と夢想します。

人

事

往

来

副本部長

防衛事務官 大久保 進



この度の異動で、防衛医科大学校病院から副本部長として着任されました。地本の任務は身に余る重責であり、また、熊本の県民として、積極的に地域へ貢献し、一意見等、任務に邁進する所存でございます。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

八代出張所長

三等海佐 一瀬 昭大



二月一日付、第二十二航空隊(大村)から熊本地本八代出張所長として着任致しました。少子高齢化並びに好景気等厳しい募集環境ではありますが、募集の重要性をよく認識し、任務達成に寄与できるよう努力する所存でございます。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

熊本分駐所長兼熊本募集案内所長

三等陸佐 福元 昭広



この度の異動で、宮崎地方協力本部から、所長に着任した。各協力団体や学校関係職員皆様のご理解と、ご協力を得て広報官と共に任務に邁進します。宜しくお願い致します。

菊池分駐所長

一等陸尉 日野 雄大



この度の異動で、第十偵察隊から菊池分駐所長として着任しました。地本勤務は初めてですが、誠意と繋がりを大切にして任務達成に尽力する所存です。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

総務課長

防衛事務官 谷口 博



この度の異動で、陸軍監理部会計課から着任しました。初めて地本勤務ですが、任務達成に向け全力を傾注する所存です。ご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

募集課長

二等空佐 吉村 雅美



初めまして、吉村です。宮崎県小林市出身。趣味はジョギング。皆様の努力を募集成果に繋げられるよう尽力する所存です。よろしくお願い致します。

転出者 (三月一日付)
佐基業 三等海佐 出崎 忠行(八代所長)

転入者 (三月一日付)
八代所 三等海佐 一瀬 昭大(二十二空)

転出者 (三月二十三日付)
北熊駐業 二等陸尉 一川 保広(援護課)

八師付隊 陸曹長 大村 純生(宇城所)

西特連 陸曹長 蓮尾 孝広(熊募所)

転入者 (三月二十三日付)
熊分所 三等陸佐 福元 昭広(宮崎地本)

菊池所 二等陸尉 日野 雄大(十偵)

援護課 二等陸尉 牧野 信也(西総監部)

渉広室 二等陸曹 松永 健作(西特連)

熊分所 二等陸曹 瀬崎 桃矢(八高大)

同 二等陸曹 切通 敏勝(二十四普連)

転出者 (四月一日付)
三衛校 二等空佐 横手由紀子(募集課長)

中三隊 三等空佐 山本 文明(援護課)

宮崎地本 防衛事務官 吉村 一巳(総務課長)

九処・装 防衛事務官 豊福 仲幸(募集課)

佐賀地本 防衛事務官 金澤真由美(援護課)

熊防支局 防衛事務官 高濱 美恵(募集課)

転入者 (四月一日付)
総務課長 防衛事務官 谷口 博(陸募・監)

募集課長 二等空佐 吉村 雅美(五警隊)

援護課 二等空佐 津曲 冬樹(陸募・監)

募集課 防衛事務官 佐藤 真樹(陸募・監)

同 防衛事務官 坂本 功(鹿児島地本)

同 防衛事務官 稲本あゆみ(北熊駐業)

同 防衛事務官 坂本 功(鹿児島地本)

同 防衛事務官 稲本あゆみ(北熊駐業)

同 防衛事務官 稲本あゆみ(北熊駐業)

同 防衛事務官 稲本あゆみ(北熊駐業)

同 防衛事務官 稲本あゆみ(北熊駐業)

同 防衛事務官 稲本あゆみ(北熊駐業)



白衛隊の熱い夏

7/6
土

☆時間
十四時開演

☆場所

熊本県立劇場コンサートホール
(熊本市中央区大江二丁目七-二)

西部方面音楽隊定期演奏会



7/7
日

☆時間
十時~十七時

☆場所
花畑広場

(熊本市中央区花畑町七-十)

じえいたいフェスタ in 熊本



祝 定年退官

三月三十一日付 防衛事務官 島田 稔

入隊年月日 昭和五十二年三月二十五日
自衛隊歴 四十二年

熊本地本を最後に定年退職いたしました。二年間皆様には大変お世話になりました。お陰様で防衛省・自衛隊で最高の勤務となりました。有り難うございました。

二月九日付 二等陸佐 野口 勝広

入隊年月日 昭和五十七年三月三十日
自衛隊歴 三十六年十ヶ月

皆様のおかげをもちまして、無事熊本地本渉外広報室長の職を最後に定年退官することができました。それまで、上司、先輩、同僚の方々は勿論のこと、部外協力諸団体の皆様には、最後まで親切にしてください。有難う御座いました。皆様の今後益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

三月四日付 三等陸尉 内野 幸孝

入隊年月日 昭和五十八年四月二日
自衛隊歴 三十五年十一ヶ月

熊本地本を最後に三十年余の自衛隊勤務を無事に終わることができました。皆様方のご指導ご鞭撻に感謝の気持ちで一杯です。これから先も一期一会を大切に社会貢献していく所存です。最後になりますが、自衛隊熊本地方協力本部の益々のご発展と、皆様方の御多幸を祈念申し上げます。

三月八日付 三等陸尉 野田 勝彦

入隊年月日 昭和五十八年三月二十八日
自衛隊歴 三十五年十一ヶ月

皆様のおかげをもちまして、熊本地本を最後に無事定年退官を迎えることができました。これまで多くの方々に出会い支えられました事に感謝いたします。

皆様の、今後益々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

平成30年度後期表彰受賞者紹介

第三級賞詞	宇城所 陸曹長	大村 純生
第四級賞詞	総務課 防衛事務官 吉村 一巳	募集課 防衛事務官 豊福 伸幸
募集課 防衛事務官 袋野 浩良	同 防衛事務官 金澤真由美	蓮尾 孝広
募集課 防衛事務官 熊澤所 陸曹長	同 陸曹長 車両無事故	14名
第五級賞詞	募集課 准陸尉 相緒 勝美	熊分所 准陸尉 黒木 照志
菊池所 陸曹長 狩野 浩敏	玉名所 陸曹長 小澤 武徳	涉広室 一等陸曹 澤田 友和
天草所 二等陸曹 森田 孝也	八代所 三等海曹 森 さゆり	その他 車両無事故 6名
褒賞状受賞者	募集課 二等空佐 横手由紀子	同 三等空佐 山本 文明
同 期間業務隊員 瀬戸 昭夫	同 期間業務隊員 四宮 宏	同 期間業務隊員 大村 勝

三月二十八日付 准陸尉 鞭馬 勇治

入隊年月日 昭和五十八年三月二十九日
自衛隊歴 三十六年

皆様のおかげをもちまして、自衛隊での勤務をまっとうすることができました。誠に感謝申し上げます。今後は自衛隊OBとして陰ながら支援していきたいと思っております。熊本地本の益々のご発展とご多幸を祈念申し上げます。

永年に亘る自衛隊勤務大変お疲れ様でした。健康に留意され益々のご活躍を祈念致します。